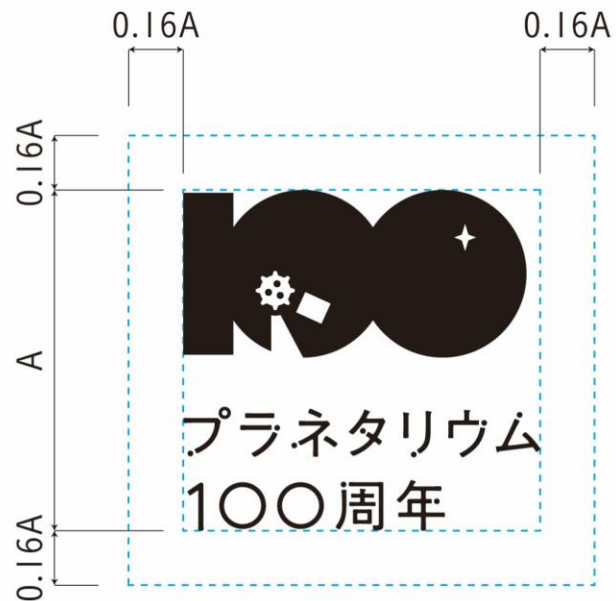


■ ロゴマークの余白設定

ロゴマークは、常に独立性を保ち明瞭に表示されなければなりません。そのためロゴマークの周囲に一定のスペース（余白）を設定しています。このスペース内に他の複雑な図柄などが入らないよう注意し、他の表示要素との間に十分なスペースを設けてください。また、余白規定は最小限必要な余白の設定ですので、実施の際にはできる限り余白を規定以上とするよう心掛けてください。



■ ロゴマークの余白設定

ロゴマークは、常に独立性を保ち明瞭に表示されなければなりません。そのためロゴマークの周囲に一定のスペース（余白）を設定しています。このスペース内に他の複雑な図柄などが入らないよう注意し、他の表示要素との間に十分なスペースを設けてください。また、余白規定は最小限必要な余白の設定ですので、実施の際にはできる限り余白を規定以上とるよう心掛けてください。



■ 使用禁止例①

ロゴデザインやタグラインなどの基本デザイン要素は、一貫性をもって正しく使用することにより、はじめて本来の機能を発揮し、望ましいブランドイメージを伝えることができます。規定外のレイアウト変更や変形など、誤った使用はイメージの統一性を損なうだけでなく、イメージ低下にも繋がりますので、使用にあたっては十分に注意し、規定に従ってください。

(例) 左最上段のロゴマークを正規のものとした場合、それ以外の全てが誤使用例となります。



規定外の色にする



規定外の色にする



変形する



角度をつける



影などをつける



規定以外の白ヌキ表示



識別性の悪い背景に配置



■ 使用禁止例②

縦・横の比率を変える



縦・横の比率を変える



枠で囲む



他の要素を加える



それぞれのサイズを変える



それぞれのサイズを変える



アウトライン表示する



他の要素を近づけすぎる



文字を他の書体に変える



書体の間隔を変える



位置関係を変える



文章中で使用する





プラネタリウム
100周年

OK



プラネタリウム
100周年

NG



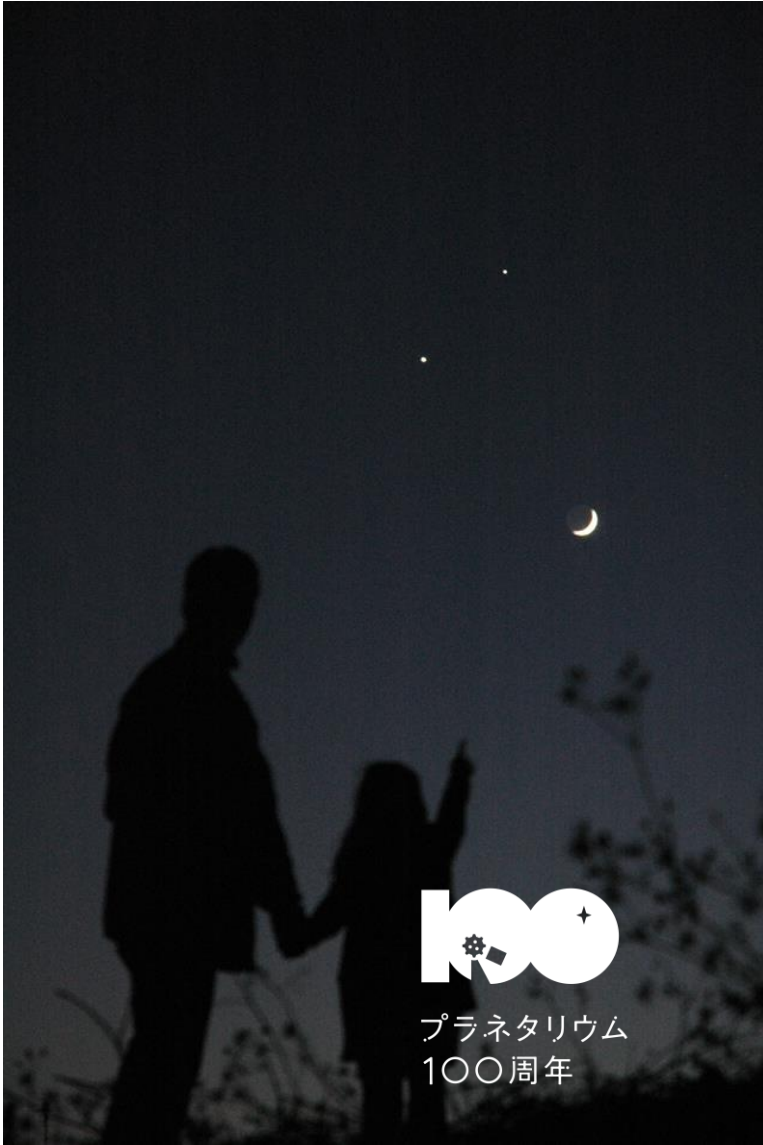
プラネタリウム
100周年

OK



NG

OK



NG ロゴの視認性が悪い

